



学校だより

相見小学校だより

宝達志水町立相見小学校

令和5年10月5日(木)

No. 12

文責 清水ひとみ

めざす児童像 : 自ら学びとる子 思いやりのある子 自ら鍛える元気な子

後期 委員長 & 学級代表の任命

いよいよ10月になりました。残暑もようやく和らぎ、秋を感じます。

後期児童会が発足し、活動がスタートしました。自分の役割を自覚し、積極的に活動している姿が頼もしいです。さらに、よりより学校・学級を目指し、リードをお願いします！

【学級代表】

6年	岡崎 滯音	木下 佳音
5年	倉下 陽向	濱田 結菜
4年	中村 優弥	山崎なのか

【委員長】

体育委員長	山田 琉愛	放送委員長	中村 玲月
生活委員長	湯上 一真	環境委員長	小川 愛海
図書委員長	山本 叶翔		

読書感想文コンクール入賞 おめでとう！

相見小では、年間を通して、全学年で「読書マラソン」に取り組み、読んだ本を「読書ノート」に記録しています。出会った本の中から、特に心に残った一冊について、読書感想文に挑戦しました。自分の考えを限られた文字数にまとめることはなかなか難しいですが、よくがんばりました。

【校内コンクール 入選】

<1年>	北橋 未結	・	西 優梨愛	・	守田 授		
<2年>	石田 葵	・	大窪 柑奈	・	徹田 旭飛	・	瀧平 悠人
<3年>	神谷 優誠	・	北 千輝	・	角 拓磨	・	名倉 綾乙
<4年>	表 司沙	・	小室 唯佳	・	下代 紗恵	・	長谷川滯璃
<5年>	石田 一真	・	倉下 陽向	・	松田 莉空		
<6年>	秋田 優華	・	川端 萌花	・	中村 玲月		



【町読書感想文コンクール】

○特選 1年 守田 授 : つなみてんでこ はしれ、上へ
 2年 徹田 旭飛 : ぼくの だいじな カマキリ
 5年 倉下 陽向 : 夢を叶えるために
 6年 川端 萌花 : 「魔女だったかもしれないわたし」を読んで

○入選 3年 角 拓磨 : 「しっばいに かんぱい」を読んで
 4年 長谷川滯璃 : 「給食室の いちにち」を読んで

「特選」となった4人の作品は、町代表として羽咋郡のコンクールに出品されました。

～芸術の秋～ 県立美術館の出前講座

日本画や彫刻・版画など13点の本物の芸術に触れることができました。大きな洋画を見ながら光の部分やセーターの網目にまで着目したり、自分のお気に入りの作品を見つけたりなど、関心を持ってじっくり鑑賞する子ども達の姿が見られました。また、学芸員の方と対話しながら鑑賞を楽しむ姿もありました。本物に触れるのは、やはり素晴らしいですね。



第2回算数教室 ～5年・6年：3日(火)～

第1回に続き、講師として、中西先生（金沢子ども財団元職員）が来てくださいました。

5年生では、活動を通して、図形について考えました。2本の紙を輪にして貼り、それを切って正方形になることを確認した後、長方形やひし形、平行四辺形などにするにはどうすればよいのか考えました。中西先生から、「課題解決で終わりではなく、さらに課題発見していくことが大切」というお話がありました。

6年生では、分数のおもしろさについて学びました。「分数に騙されてはいけないよ」という中西先生の言葉通り、子ども達は、頭を悩ましながら問題に取り組み、気づいていきました。「分数では、図と計算と単位が大切」というお話がありました。1学期に学んだ分数について、また違った視点から考えることができました。



待ちに待った サツマイモほり (2日:月) ～1・2年生～

5月の苗植えに続き、学校ボランティアの山田さんが来てくださり、色々教えてくださいました。2年生がリードして、まずはサツマイモの葉をとり、そして、いよいよサツマイモほりをしました。大きなサツマイモの「紅はるか」が次々と顔を出し、子ども達は大喜びでした。11月には、収穫を祝う会を予定しています。ご協力いただき、本当にありがとうございました。



研究授業 9月21日(木) 5年体育 授業者：藤勝 先生

単元名：【陸上運動】ハードル走

～目指せ！ハードル名人 40mと40mハードル走の差が小さい人がWINNER！～

本時のねらい：ハードル走について、自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録の仕方を工夫することができる。



練習方法が工夫できるように、ハードルの高さやインターバルを変えた場所を、みんなで協力して準備できました。



ペアになって動画を撮影し、走り方を確かめたり、自己の課題に適した練習をしたりできました。

研究授業 9月28日(木) はまなす国語 授業者：川原 先生

単元名：登場人物の気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう 「ごんぎつね」

本時のねらい：文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。



主人公「ごん」の気持ちをくわしく考え、ICTを使って、伝え合うことができました。

主人公「ごん」の気持ちの変化を、叙述に着目して、想像することができました。

